

地域と生きる

おんが病院・おかがき病院だより

10周年記念式典を開催しました。



遠賀中間医師会病院は、おかげさまで
10周年を迎えることができました。これも
ひとえに地域および行政の方々の支援のたまも
です。厚く御礼申し上げますとともに、今後も更
なる地域社会貢献のため、安全安心な医療介護を
提供することを目指したいと考えます。

10周年記念祝賀会準備委員会
委員長 末廣 剛敏



おかがき病院 物忘れ外来紹介

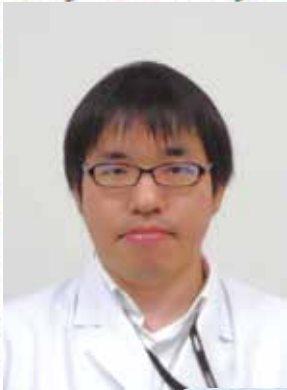
専門医がご本人を診察し、認知症なのか診断いたします。検査内容は、CT・心電図・採血・心理検査等を行いません。その上で必要があれば治療を行います。

また、接し方や介護方法について困っている時、ご本人やご家族の状況にあった対応を一緒に考えます。地域での生活が送れるように個別性を重視した援助を行います。

- ・ 物忘れがひどくなった
- ・ 時々、意味のわからないことを言う
- ・ 出歩いて、道に迷うことがある
- ・ 夜、眠らずにウロウロしている
- ・ トイレの失敗をするようになった
- ・ 人（人格）が変わったような気がする


このような症状は、認知症以外の病気でも起こることがあります。一度、認知症かどうかきちんと診断を受けられることをお勧めします。

※完全予約制となっているため事前にご連絡ください。TEL 093-282-0181



おかがき病院にて、毎週木曜日にもの忘れ外来を行うこととなりました久保隆光と申します。もの忘れを始めとした認知症の諸症状にお悩みの患者さま、ご家族様により添える存在になれるよう頑張っております。よろしくお願い致します。

久保隆光 医師



毎週火曜日のもの忘れ外来を担当している香園敬志と申します。認知症は早期発見・早期治療が必要ですので、患者さん、ご家族とも話し合い適切な治療に築けていけるよう努力していきたいと思っております。

香園敬志 医師

おかがき病院 重度認知症デイケア紹介

重度認知症デイケアは認知症の症状のある方を対象に、リハビリテーション活動を通して、心と体の健康を維持しながら、ご家庭で生活しやすくなるように、またご家族の皆様の負担が少しでも軽くなるように支援していきます。

朝9:00から15:30まで活動を行っており、午前中は座って手先を動かす作業を中心に行い、午後は身体を動かすことを目的に散歩やゲームを行っています。月に1度は花見やバスハイク、お菓子作りなど季節に合わせたお楽しみ会も行っています。

スタッフは精神科医、作業療法士、看護師、精神保健福祉士、ケアスタッフで構成されており、少しでも悩み事や問題解決に役立てればと、スタッフや家族同士の交流の場である家族会も行っています。

遠賀郡内にお住まいであれば自宅までの送迎も行っております。デイケア利用のためには外来受診が必要となっておりますのでお気軽にご相談ください。



当院外科は平成 22 年から九州大学消化器総合外科（第 2 外科）が担当しています。平成 27 年現在、部長の濱津（平成 8 年卒）、医員の川崎（平成 21 年卒）、大学院ローテーター 1 名の計 3 人体制で診療しています。さて本題に入りますが、今回は胆石症についてお話したいと思います。【胆石とは】肝臓で作られた胆汁中の成分が析出することにより胆石となります。多くは胆嚢内で石となるため、それを胆石（胆嚢結石）と呼びます。まれに胆管（肝内胆管、総胆管）に石ができることもあり、それらは肝内胆管結石、総胆管結石と呼ばれます。【胆石の症状】多くの場合、胆石は何の症状もありません。症状が現れる人は胆石持ちの 1～3%とも言われています。無症状の場合は、長い間胆石に気付かず、高齢になると 2～3%に胆嚢がんや胆管がんが発生すると報告されています。症状としては吐き気や嘔吐、みぞおちや右脇腹の激しい痛み（胆石仙痛）、背中での痛みや張り、腰痛や肩こり、大量の汗が出たりします。1 回症状が出た方は繰り返すことが多いです。【胆石の検査】採血、超音波検査、CT、MRCP（MRI）などで診断します。【胆石の治療法】①経口胆石溶解剤、②体外式衝撃波破碎療法（ESWL）、③手術（開腹胆嚢摘出術、腹腔鏡下胆嚢摘出術）がありますが、①②は適応が限られていたりして実際にはあまり行われていないのが現状です。通常は③の手術を行います。軽い症状の場合もしくは痛みはないが予防的に胆嚢を切除する待機手術（あらかじめ日程を決めておく手術）を行う場合と、症状がひどく緊急もしくは準緊急で受診当日もしくは可及的速やかに手術を行うことがあります。また手術以外にも超高齢者であったり、発症からの日数が長く炎症が強い場合や、心臓など他に重い持病がある場合はひとまず体表から胆嚢内部にチューブを留置して急場をしのぎ後日に手術を行うこともあります。





おなが病院 4階病棟は外科・整形外科病棟の混合病棟です。職員は看護師36名 准看護師1名 パート看護師2名 クラーク1名 ケアスタッフ8名で構成しています。

外科では、消化器(肝臓・膵臓・胆嚢・胃・腸など)・肺・乳房・ヘルニアなどの外科的治療や手術・化学療法を積極的に行っています。

整形外科では、人工関節置換術・関節鏡による膝靭帯再建・肩関節形成術の手術を行っており、手術後は患者さんの早期離床・社会復帰を目指しています。リハビリが継続的に必要な時は、おながき病院回復期リハビリテーション病棟とも連携し患者さんの在宅復帰に努めています。

看護師は、安全で安心な医療・質の高い看護が提供できるように、医師や他職種と積極的に意見交換を行い、患者さんの早期社会復帰に向け取り組んでいます。



外科回診



整形外科患者退院指導

<HCU 紹介>

HCU は High Care Unit の略で高度治療病棟と呼ばれ、平成 22 年 6 月に開設しました。昼夜にわたり救急外来よりの緊急入院、手術後など内科・外科を問わず高度な集中治療や密な看護を必要とする病棟です。

病床数は8床で稼働し、15名の看護師で4:1看護を行っています。HCU では呼吸・循環の管理を中心に、不安定な病状の患者さんを、一人でも多く救命できるように看護にあたっています。また、患者さんの安全の確保に細心の注意をし、患者さんが安心して医療に専念していただける環境に心掛けております。



状態観察



申し送り



発行日:平成 27 年 6 月吉日
 発行:遠賀中間医師会おなが病院・おながき病院
 編集:おなが病院・おながき病院広報委員会